

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦

県立厚木東 102

19	-	6
26	-	16
24	-	15
33	-	16
-	-	-

53 柳ヶ浦

主審 岩木 太郎

(神奈川県) ○

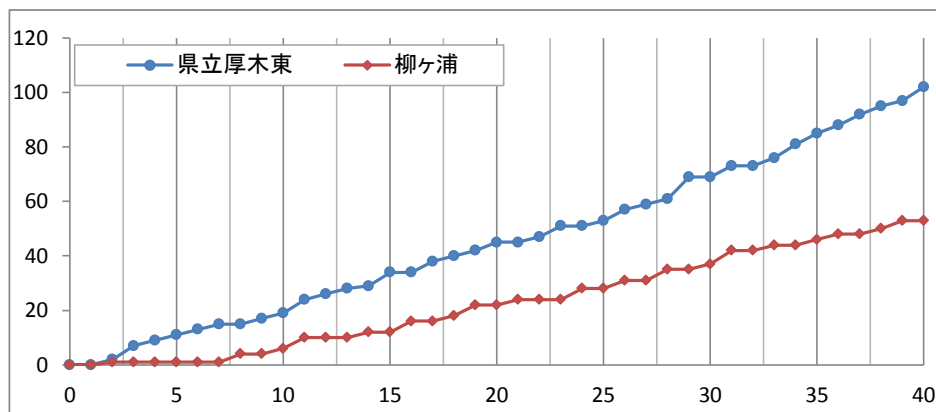
● (大分)

副審 名越 龍男

No. 29a2

日時: 2013年7月29日(月) 11:10

会場: ベっぷアリーナ



県立厚木東

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 横山 和彦 (C)	15	3	3	0	3
5	鈴木 康明	12	0	4	4	1
6	高砂 秀星	0	0	0	0	1
7	* 河野 賢人	15	1	5	2	2
8	* 小久保 克俊	4	0	2	0	1
9	手嶋 上総	9	0	2	5	2
10	* 中野 翔吾	29	0	14	1	1
11	引間 雄也	1	0	0	1	1
12	白石 祥輝	1	0	0	1	0
13	細澤 将太	2	0	1	0	2
14	* 望月 大地	6	0	3	0	2
15	富樫 颯人	8	0	3	2	0
コーチ	永田 雅嗣郎					
合計		102	4	37	16	16

柳ヶ浦

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	小橋川 徳真	0	0	0	0	0
5	奥松 和憲	2	0	1	0	1
6	* 村上 義泰 (C)	8	0	2	4	4
7	* 台良 則之	18	0	8	2	1
8	* 原野 滉大	2	0	1	0	4
9	* 前川 文治	2	0	0	2	1
10	* 宮城 惇	6	0	3	0	4
11	住田 晴彦	5	1	1	0	4
12	與那覇 守登	0	0	0	0	2
13	庄野 将人	3	1	0	0	0
14	坂田 雅弥	0	0	0	0	0
15	新納 聖龍	7	0	3	1	2
コーチ	中村 誠					
合計		53	2	19	9	23

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

序盤の緊張のためか、開始から1分を越えても両チームは無得点のままであった。県立厚木東#10のミドルシュートの成功から県立厚木東が徐々にリズムをつかみ始めた。この後、県立厚木東は#4の3Pや#10のOffリバウンドからの得点などで加点した。一方、柳ヶ浦は#6のフリースローの得点のみで試合は9対1と一方的となり始め、残り5分59秒で柳ヶ浦がたまたまタイムアウトをとった。その後、県立厚木東は1-3-1ゾーンに切り替え、これを柳ヶ浦が攻めあぐね、点差はさらに広がった。柳ヶ浦もメンバーチェンジを機にオールコートDefに切り替え、#10の速攻などで反撃するが、県立厚木東が19-6とリードして第1ピリオドを終えた。第2ピリオド立ち上がりは柳ヶ浦の得点で始まったが、県立厚木東#7が3Pで22-8とする。柳ヶ浦はオールコートマンツーマンに切り替え、激しいDefでリズムをつかもうとするが、なかなか得点に結びつかない。逆に県立厚木東の激しいDefと積極的なリバウンドにより徐々に点差が開き始める。残り2分を切る頃、柳ヶ浦も上手にゾーンを攻め、#7が連続ポイントをあげた。終了間際、この試合3本目となる3Pを県立厚木東#4が決め、前半を45-22と県立厚木東がリードして終わった。

第3ピリオドは、双方一進一退の攻防を展開し、リードした県立厚木東が4分間で6得点と攻めあぐね柳ヶ浦が2連続得点した残り5分55秒、県立厚木東がタイムアウトを取った。その後も同じように激しい攻防が続いた。柳ヶ浦#6のフリースローの後、柳ヶ浦はオールコートでプレスDefを仕掛けるが、県立厚木東#5のバスケットカウントや#4の3Pで県立厚木東が流れを渡さなかった。第4ピリオド、柳ヶ浦はスタートから2-2-1オールコートゾーンプレスと#13の3Pで勝負を仕掛けた。一方県立厚木東もオールコートDefで応戦し、激しい攻防が繰り広げられた。県立厚木東の攻守にわたるリバウンドが目を引き試合で県立厚木東が102-56で柳ヶ浦を破った。

記載者

内田 保博

(所属) 大分県バスケットボール協会